

九条北小学校 校長室だより

N0.35 令和5年1月16日



ここ数日、比較的過ごしやすい気温の日が続いています。3学期が始まり、児童たちは、休み時間には運動場に出て元気に過ごしています。

一方で、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が心配されています。現在、本校では、心配する状況ではありませんが、引き続き、マスク着用・手洗いの徹底・喚起等に取り組んでいきます。ご理解・ご協力をお願いいたします。



★ 令和6年度 大阪府立中学校入学者選抜より

適正検査に「英語」が導入されます！！★

大阪府教育庁より、以下の内容についての連絡がきました。

1 概要

平成29年3月に告示された小学校学習指導要領（以下「新学習指導要領」という）及び各府立中学校の教育理念を踏まえ、令和6年度大阪府立中学校入学者選抜より、**府立水都国際中学校及び府立富田林中学校の適性検査に「英語」を導入する**。英語の適性検査は、新学習指導要領に示される「外国語」の目標及び内容等に留意し「リスニング」により実施する。

2 その他

令和5年度に適性検査「英語」に係る試作問題を公表する。

★ 明日「1.17」 阪神・淡路大震災から28年 ★

明日1月17日は、大きな被害を出した阪神・淡路大震災から28年目を迎えます。

阪神・淡路大震災は、1995年1月17日午前5時46分に起きた大都市直下型地震で、震源は兵庫県の淡路島北部、マグニチュードは7・3でした。気象庁の観測史上初の最大震度7だったといいます。とてもたくさんの死者や負傷者を出し、たくさんの建物が壊れるという大きな被害を出しました。

6年生は、修学旅行で、実際に震災を経験したからお話を聞き、震災の時のまま残した液状化で浮き上がった地面や被害を受けた家も見学しましたね。

震災の日、大きな揺れに目が覚めたのを覚えています。大阪市内でもすべての交通機関が止まり、場所によっては、建物に被害があつたり、食器棚や本棚が倒れた家もありました。震源地に近い、淡路島や神戸の街の状態はたくさんの写真で残っていますが、とても悲惨な状況でした。阪神高速も崩れてしまい、大阪市内から神戸への道が遮断されました。

当時、まさか、このような大きな地震がくるとは、誰も思っていなかつたので十分な備えができていなかつたため、大きな被害となり、そして復旧にとても長い時間がかかってしまいました。その反省のもと、阪神・淡路大震災がきっかけとなり、防災・復興対策が見直され、さまざまな仕組みがつくられていきました。災害ボランティアが広まったきっかけにもなっています。

特に兵庫県では、すべての学校で防災教育に力を入れています。さらには毎年1月17日には、市町村単位で避難訓練もしています。そうやって災害に備えることの大切さを伝えています。

私たちも、この機会に、防災の備えについて考えてみましょう。ぜひ、お家でも話をしてみてください。